

平成 18 年 5 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 18 年 6 月 6 日

会社名 サイバーステップ株式会社

(コード番号 : 3810 東証マザーズ)

(U R L <http://www.cyberstep.com/>)

東京都調布市布田一丁目 29 番 2 号

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役 武内 重親
責任者役職・氏名 経営管理室長 山口正夫

TEL : (042) 440 - 3300

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

四半期財務諸表の作成基準	:	中間財務諸表作成基準
最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無	:	無
会計監査人の関与	:	無

2. 平成 18 年 5 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 6 月 1 日 ~ 平成 18 年 2 月 28 日)

(1) 経営成績の進捗状況

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 (当 期) 純 利 益
18 年 5 月期第 3 四半期	百万円 653 -	百万円 302 -	百万円 304 -	百万円 202 -
17 年 5 月期第 3 四半期	- -	- -	- -	- -
(参考) 17 年 5 月期	682 -	320 -	322 -	211 -

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
18 年 5 月期第 3 四半期	円 銭 14,777 60	円 銭 - -
17 年 5 月期第 3 四半期	- -	- -
(参考) 17 年 5 月期	81,877 37	- -

(注) 前年同期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国の経済環境は、景気回復に支えられ企業の輸出や設備投資が堅調に推移し、企業の生産も過去最高水準にあり、雇用と賃金の改善を反映して、雇用者所得も緩やかに増加し、個人消費も底堅く推移しております。

このような経済環境の中、オンラインゲーム市場は、日本を含めたアジア各国市場でも順調に拡大を続けております。

当社では、アジア各国で 1500 万人以上の会員を有するオンラインアクションゲーム「GetAmped」が韓国、台湾、中国、タイ、インドネシアで順調に成長を続けております。また日本市場では「GetAmped」に続く MMO アクション RPG 「 C 2 1 」 のオープンベータテストを平成 18 年 2 月 1 日より開始し、日本市場での自社運営の準備を進めております (更に自社運営を拡張するため、日本での「GetAmped」のライセンス契約は 1 月末で解消いたしました)

以上の結果、当第 3 四半期の業績は、売上高 653 百万円、営業利益 302 百万円、経常利益 304 百万円、四半期純利益 202 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株当たり 株 主 資 本
18年5月期第3四半期	百万円 674	百万円 632	% 93.8	円 45,831 銭 62
17年5月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)17年5月期	541	437	80.7	156,249 11

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
18年5月期第3四半期	百万円 113	百万円 36	百万円 0	百万円 362
17年5月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)17年5月期	240	158	37	283

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度に比べて78百万円増加し、362百万円となりました。

四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期における営業活動による資金の増加は113百万円であります。当第3四半期での主な増加要因は、税引前第3四半期純利益304百万円、減価償却費が16百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期における投資活動による資金の減少は36百万円であり、主なものは無形固定資産の取得による支出34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期における財務活動による資金の増加は、0.3百万円であり、その主なものは、新株予約権行使に伴う収入0.7百万円であります。

3. 平成18年5月期の業績予想(平成17年6月1日～平成18年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 907	百万円 390	百万円 234

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 15,849円 11銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年3月10日からMMOアクションRPG「C21」の商用サービスを開始しております。期末の業績予想には、本商用サービス開始による売上高等を見込んであります。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

		当第3四半期会計期間末 (平成18年2月28日現在)			(参考) 平成17年5月期	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(資産の部)						
流動資産						
1. 現金及び預金		472,597		393,954		
2. 売掛金		107,314		65,779		
3. 貯蔵品		97		196		
4. 繰延税金資産		9,039		12,043		
5. その他	2	15,395		19,475		
流動資産合計		604,443	89.6	491,450		90.8
固定資産						
1. 有形固定資産	1	6,945	1.0	6,956	1.3	
2. 無形固定資産		54,538	8.1	34,764	6.4	
3. 投資その他の資産						
(1) 関係会社株式		1,109		1,109		
(2) 関係会社長期貸付金		2,326		2,162		
(3) 繰延税金資産		187		481		
(4) その他		5,007		4,598		
投資その他の資産合計		8,629	1.3	8,351	1.5	
固定資産合計		70,114	10.4	50,071	9.2	
資産合計		674,557	100.0	541,521		100.0

		当第3四半期会計期間末 (平成18年2月28日現在)			(参考) 平成17年5月期		
区分	注記 番号	金額(千円)		構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
(負債の部)							
流動負債							
1. 買掛金		3,686			2,934		
2. 未払費用		25,569			31,062		
3. 未払法人税等		8,883			45,539		
4. その他		3,942			24,981		
流動負債合計		42,081		6.2	104,518		19.3
負債合計		42,081		6.2	104,518		19.3
(資本の部)							
資本金		87,145		12.9	86,770		16.0
資本剰余金		77,145		11.5	76,770		14.2
利益剰余金		468,186		69.4	273,463		50.5
資本合計		632,476		93.8	437,003		80.7
負債・資本合計		674,557		100.0	541,521		100.0

(2) 四半期損益計算書

区分	注記番号	当第3四半期会計期間 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)		(参考) 平成17年5月期		
		金額(千円)	百分比(%)	金額(千円)	百分比(%)	
売上高		653,152	100.0	682,808	100.0	
売上原価		22,952	3.5	12,975	1.9	
売上総利益		630,199	96.5	669,833	98.1	
販売費及び一般管理費		327,295	50.1	349,344	51.2	
営業利益		302,904	46.4	320,489	46.9	
営業外収益	1	1,814	0.3	4,515	0.7	
営業外費用	2	410	0.1	2,365	0.3	
経常利益		304,307	46.6	322,638	47.3	
税引前第3四半期(当期)純利益		304,307	46.6	322,638	47.3	
法人税、住民税及び事業税		98,186		119,457		
法人税等調整額		3,298	101,485	8,465	110,991	16.3
第3四半期(当期)純利益			31.1		211,647	31.0
前期繰越利益		202,822			61,816	
第3四半期(当期)未処分利益		265,363			273,463	
		468,186				

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)	(参考) 平成17年5月期
区分	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前第3四半期(当期)純利益	304,307	322,638
減価償却費	16,590	10,013
受取利息及び受取配当金	130	30
為替差損益	1,227	331
新株発行費	410	-
固定資産除却損	-	1,273
売上債権の増加額	41,534	9,142
たな卸資産の増減額	99	196
仕入債務の増加額	752	950
未払費用の増減額	5,493	11,959
その他の資産の増減額	3,794	16,886
その他の負債の増減額	18,494	12,077
役員賞与の支払額	8,100	6,000
小計	250,974	326,326
利息及び配当金の受取額	127	30
法人税等の支払額	137,507	85,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,593	240,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預け入れによる支出	-	110,000
有形固定資産の取得による支出	1,668	7,117
無形固定資産の取得による支出	34,685	37,923
関係会社株式の取得による支出	-	1,109
貸付による支出	-	2,044
その他の投資による支出	-	2,048
その他の投資による収入	-	1,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,353	158,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式分割による支出	410	-
新株発行による収入	750	37,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	339	37,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,063	213
現金及び現金同等物の増減額	78,643	120,068
現金及び現金同等物の期首残高	283,954	163,886
現金及び現金同等物の期末残高	362,597	283,954

四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項

項目	当第3四半期 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)	(参考) 平成17年5月期
1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式 移動平均法による原価法を採用しております。</p> <p>(2) たな卸資産 貯蔵品 最終仕入原価法を採用しております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) たな卸資産 同左</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 15年 工具器具及び備品 4年～6年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。 販売目的のソフトウェアについては、見込販売収益に基づく償却額と残存有効期間(3年)に基づく均等配分額とを比較し、いずれか大きい額を計上しております。</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p>
3. 四半期キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	手許現金、隨時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	同左
4. その他四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	(1) 消費税等の会計処理 同左

四半期財務諸表作成のための基本となる事項の変更

当第3四半期会計期間 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)	前事業年度 (自 平成16年6月1日 至 平成17年5月31日)
<p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>当第3四半期会計期間より、固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針6号)を適用しております。</p> <p>これによる損益に与える影響はありません。</p>	-

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期末 (平成18年2月28日現在)	前事業年度末 (平成17年5月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 3,506千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 1,827千円
2 消費税等の取扱い	2 消費税等の取扱い
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺の上金額的に重要性が乏しいため、流動資産の「その他」に含めて表示しております。	-

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)	前事業年度 (自 平成16年6月1日 至 平成17年5月31日)
1 営業外収益の主要項目 為替差益 785千円 助成金収入 802千円	1 営業外収益の主要項目 為替差益 607千円 助成金収入 3,796千円
2 営業外費用の主要項目 新株発行費 410千円	2 営業外費用の主要項目 固定資産除却損 1,273千円 リース解約金 798千円
3 減価償却実施額 有形固定資産 1,679千円 無形固定資産 15,118千円	3 減価償却実施額 有形固定資産 1,458千円 無形固定資産 8,620千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)	前事業年度 (自 平成16年6月1日 至 平成17年5月31日)
現金及び現金同等物の第3四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目的金額との関係 (平成18年2月28日現在) (千円)	現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目的金額との関係 (平成17年5月31日現在) (千円)
現金及び預金勘定 472,597	現金及び預金勘定 393,954
預け入れ期間が3ヶ月を超える	預け入れ期間が3ヶ月を超える
定期預金 110,000	定期預金 110,000
現金及び現金同等物 362,597	現金及び現金同等物 283,954

(重要な後発事象)

当第3四半期 (自 平成17年6月1日 至 平成18年2月28日)	前事業年度 (自 平成16年6月1日 至 平成17年5月31日)

以上